

令和4年度 英語コミュニケーションⅠ シラバス

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	1 年次

目標 4 技能をバランスよく取り入れ、英語を学ぼうとする態度を育成し、基礎的な学力を養う
身近な問題を取り上げ、知識を養うとともに外国に対して興味・関心を持つ

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常的な話題や、社会的な話題について、聞くこと（やり取り、発表）・話すこと・読むこと・書くことの4技能5領域を活用して理解することができる。	提示された課題等に対して、情報を整理しながら自分の考えを英語で表現し、相手に伝えることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を使用、また学ぶ姿勢を身につけ、積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査・小テスト	定期考査 パフォーマンステスト	自己評価 パフォーマンステスト

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	身の回りの単語の学習 フォニックス Lesson 1, 2 パフォーマンステスト（発表、やり取り、書くこと）	小テストで定着度をはかる 年6回パフォーマンステストの実 単元ごとに自己評価 単元テストの実施	VISTA English Communication I ユメタン 自作プリント Kahoot!などのアプリ
後期	Lesson 3, 4 パフォーマンステスト（発表、やり取り、書くこと）		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

教科書を使って英文を理解するだけでなく、英語を話す・聞く・書くこともやっていきます。最初は簡単な自己紹介から始めていきますので、英語の流暢さではなく、「自分は相手に何を伝えたいか」を意識しましょう。日常的な簡単な表現からしっかり学んでいきましょう。

令和4年度 初級英会話 シラバス

科目	初級英会話	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2部全年次	／後期入学生

目標 日常生活の様々な場面で使用する基礎的な語彙や会話表現を身に付ける。
学んだ知識や表現を活用し、主体的にコミュニケーションを取ることができる。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活の様々な会話の場面に必要な語彙、表現などの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合える。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査	スピーキングテスト	ペアワークの取組状況 スピーキングテスト

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	初対面の人への挨拶 学校の生活 休日の過ごし方 旅行の計画 ファストフード店での会話	設定場面の紹介 語彙・表現の確認 教員による実演	自作プリント
後期	性格の描写 病気の症状 買い物での会話 空港での会話 道聞きと道案内	会話練習 ロールプレイ 振り返り	

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業での取り組み状況、定期考査、スピーキングテスト、提出物を通して、総合的に評価します。基礎的な語彙や表現を身に付けることも重要ですが、コミュニケーションの目的、場面、状況を理解し、学んだ知識を活用して、伝えることができるかを重視します。その為、普段の授業では、ロールプレイなど他者を意識したペアワークの場面を多く設定し、練習しますので、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を大切に学習しましょう。

令和4年度 英語基礎 シラバス

科目	英語基礎	単位数 対象 部・年次	2 単位 3 部 全年次
----	------	----------------	-----------------

目標 基本的な文法事項を習得し、英語で簡単な会話を楽しむ

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	文の構造を理解して、言葉の意味を理解し、文中でのその働きを知ることによって文章を読めるようにする。	文の構造を理解して、会話の中で適切な単語を用い、伝えたいことを伝えられる。	習得した文の構造や単語について、深く知りより多くを学ぼうとする。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	小テスト、定期考査	パフォーマンステスト	自己評価

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	基本的な文法事項 短文を読む（語順） 定型化した会話表現	小テストで定着度をはかる 問題集に沿って進めていく 会話表現のペア練習 パフォーマンステスト	Fast Reading Primary stage2～3(文英堂)
後期	日常会話表現 長文を読む（内容理解）		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業中の発表、小テスト、定期テスト。習得した内容を振り返り自己評価することも含まれる。